

# SOW-SIBL 初期設定手順書

## 【本書について】

●本書はSOW-Sのインストールからライセンス認証までの手順を解説しています。(標準インストール手順であり、カスタマイズインストールではありません。)

●インストールするサーバーの要求仕様は事前に確認し、仕様に合ったものをご用意ください。

[http://www.sony.jp/snc/products/SOW-SIBL/feature\\_1.html#L2\\_60](http://www.sony.jp/snc/products/SOW-SIBL/feature_1.html#L2_60)

●ライセンス申請/取得には、インターネットに接続できるPCが必要です。

●本書を理解していただくには、以下の知識が必要です。

- ・Windows
- ・インターネット
- ・ネットワーク(PoEを含みます。)
- ・ネットワークカメラ

●サーバーPC上の作業は管理者権限で実施してください。

## 【注意事項】

初期ライセンスの取得には数営業日かかります。余裕をもって申請してください。

# 目次

<b>1. 初期ライセンスファイルの取得</b>	
1-1 ライセンス申請	3
<b>2. インストール</b>	
2-1 インストーラのダウンロード	4
2-2 インストーラの実行	5
2-3 Device Pack のアップデート	7
<b>3. 初期設定</b>	
3-1 言語設定	10
3-2 オプション設定	12
3-3 レコーディングサーバーの開始	14
3-4 カメラ登録(自動登録)	15
3-5 カメラ登録(手動登録)	19
3-6 アーカイブへの移動間隔設定	21
3-7 カメラ毎の詳細設定	22
3-8 新規ユーザーの作成	26
3-9 アクティベーション	28
<b>4. クライアントとの接続</b>	
4-1 外部のSmart Clientからのモニタリング	31
4-2 Smart Clientのビュー作成	32

# 1. ライセンス申請

## 1-1 ライセンス申請

①SOW-SIBL、カメラ登録ライセンスの納品物(ライセンス購入通知書)を用意します。



②インターネットに接続されたPCを用意します。WEBブラウザで次のURLを開きます。

<http://www.sony.jp/snc>

③右下にある「HAW/SOWライセンス登録」のバナーをクリックします。



④表示されたページの内容に従って「HAW-S / SOW-Sライセンス申請」を行ってください。



⑤後日、メールにて初期ライセンスファイルが届きます。

例)

V09-E02-102-02-XXXXXX-XXXX.lic

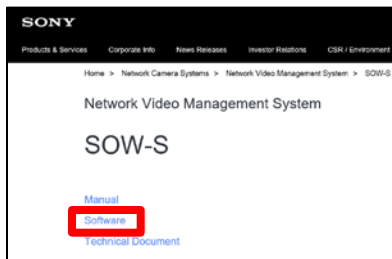
初期ライセンスファイルは大切に保管してください。

## 2. インストール

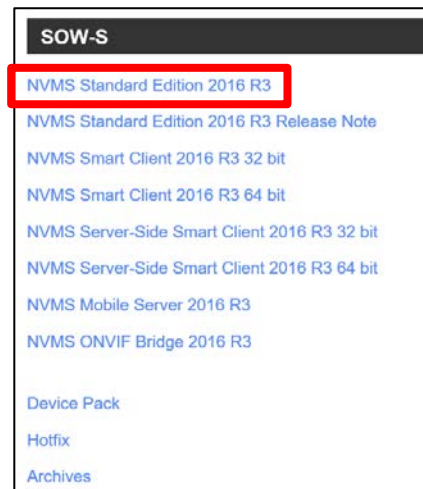
### 2-1 インストーラのダウンロード

①ブラウザから以下のサイトにアクセスします。  
“Software”をクリックします。

[https://www.sony.net/Products/CameraSystem/NVMS/SOW\\_S/](https://www.sony.net/Products/CameraSystem/NVMS/SOW_S/)



②“NVMS Standard Edition 20\*\* R\*”をクリックします。  
※以下のイメージでは「2016 R3」となっています。  
これはバージョン番号なので随時更新されます。



③EULAが表示されます。最下部の「Agree」をクリックします。

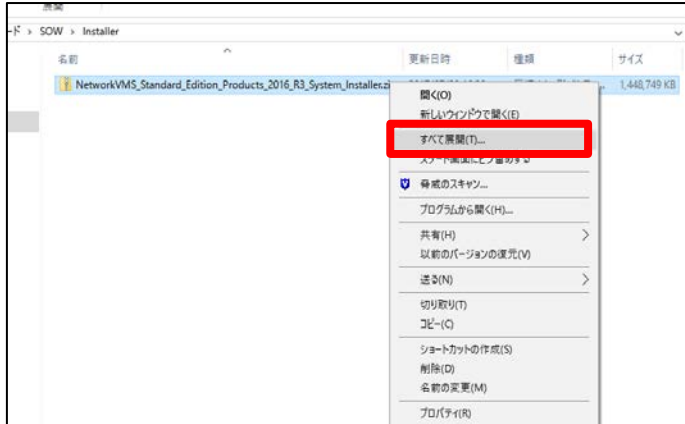
④再度、“NVMS Standard Edition 20\*\* R\*”をクリックします。インストーラがダウンロードされます。

## 2-2 インストーラの実行

### ①2-1.でダウンロードしたインストーラ

「NetworkVMS\_Standard\_Edition\_Products\_2016\_R3\_System\_Installer.zip」をインストールするPC上にコピーします。

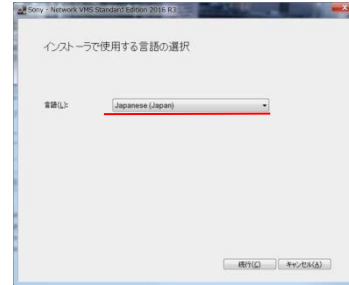
②インストーラはzip形式になっていますので展開します。インストーラの上で右クリックし「すべて展開」を選びます。



### ③展開したファイルの

「NetworkVMS\_Standard\_Edition\_Products\_2016\_R3\_NVR\_System\_Installer.exe」を実行します。

### ④言語を選択し、「続行」をクリックします。



⑤以下の画面が表示されます。ライセンスファイルの場所で、「参照」をクリックし、1-1.で入手した、初期ライセンスファイルを選択し、「続行」をクリックします。



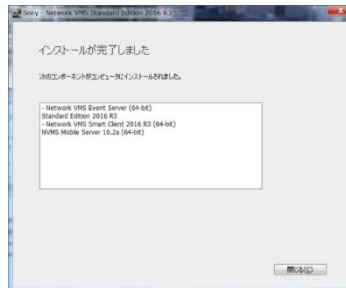
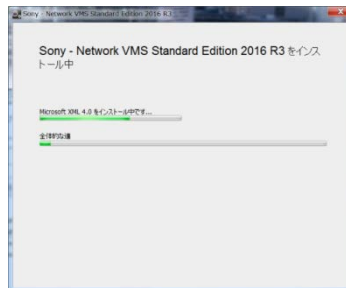
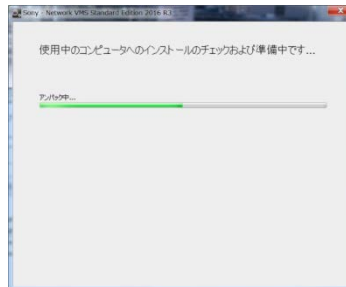
⑥「使用許諾契約の条項に同意します。」にチェックを入れ、「続行」をクリックします。



⑦一般には「標準」をクリックします。



⑧インストールが始まります。「インストールが完了しました。」の画面になったら、「続行」をクリックします。



## 2-3 Device Pack のアップデート

Device Packとは、ネットワークカメラなどのデバイスのドライバーをまとめたもので、VMSが使用するデータファイルです。ここではDevice Pack のバージョンを確認し、最新版でなければ最新版にアップデートします。

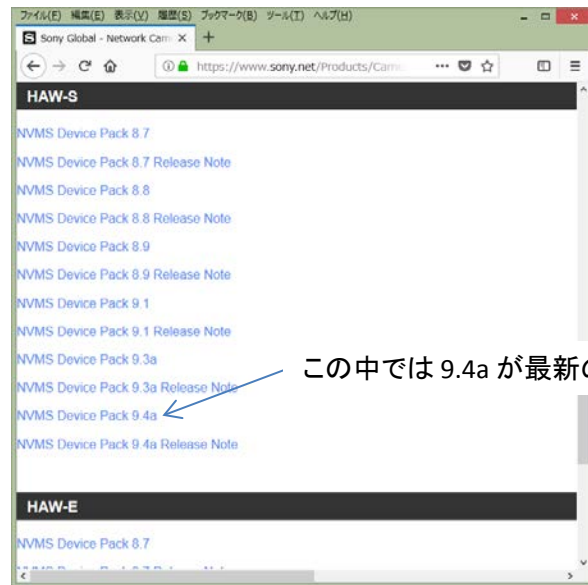
※Device Packインストール後に再起動がかかります。

①「Sony - Network VMS Management Application」を起動します。メニューの「ヘルプ」-「バージョン情報」を開き、デバイスパックバージョンを確認し、「OK」をクリックします。



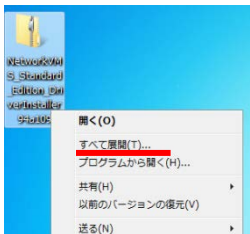
②インターネット環境に接続されたPCから以下のURLを開く。SOW-Sの項目の中にある「Device Pack」をクリックし、レコーダーにインストールされているデバイスパックより新しいものがあれば、最新のデバイスパックをダウンロードする。

<https://www.sony.net/CameraSystem/NVMS/Software>



この中では 9.4a が最新のデバイスパック

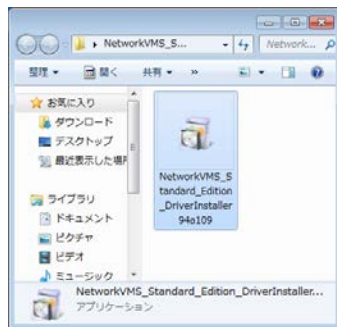
③Sony - Network VMS Management Applicationが起動されていればそれを閉じます。ダウンロードしたデバイスパックをUSBメモリでレコーダーにコピーします。そのファイル上で右クリックし、すべて展開を選びます。



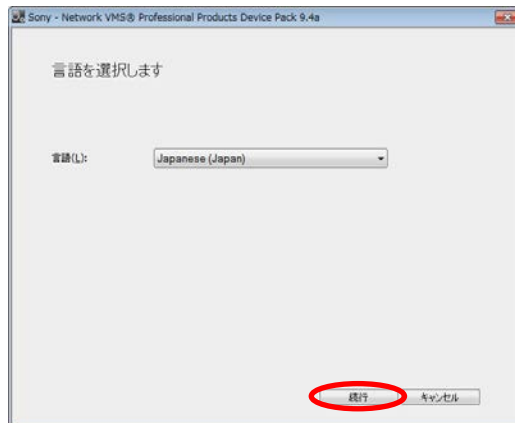
④「展開」をクリックします。



⑤展開されたファイルをダブルクリックし実行します。

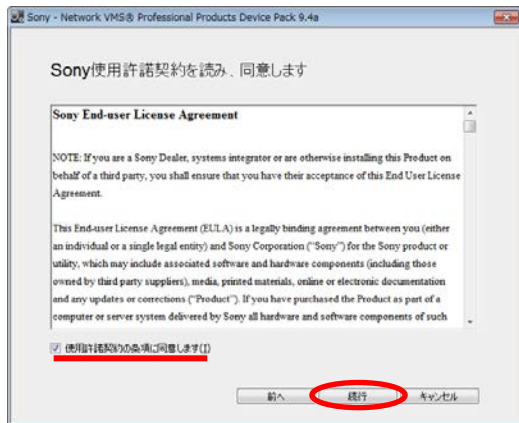


⑥言語の選択画面で「Japanese」を選び、「続行」をクリックします。

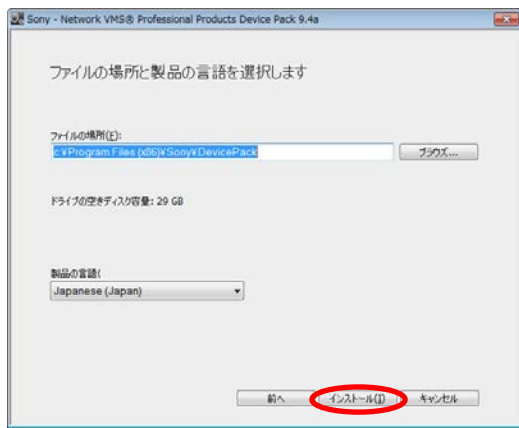




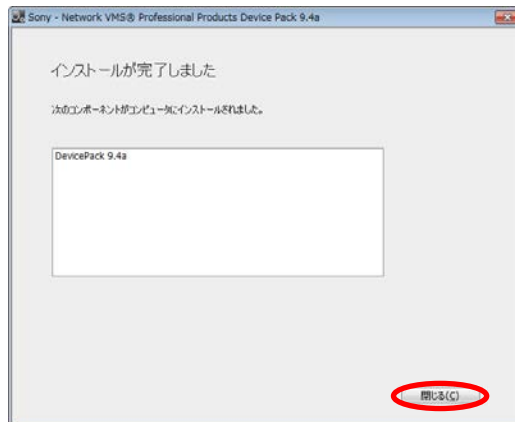
⑦「使用許諾契約の条項に同意します」にチェックを入れ、「続行」をクリックします。



⑧「インストール」をクリックします。



⑨「閉じる」をクリックします。

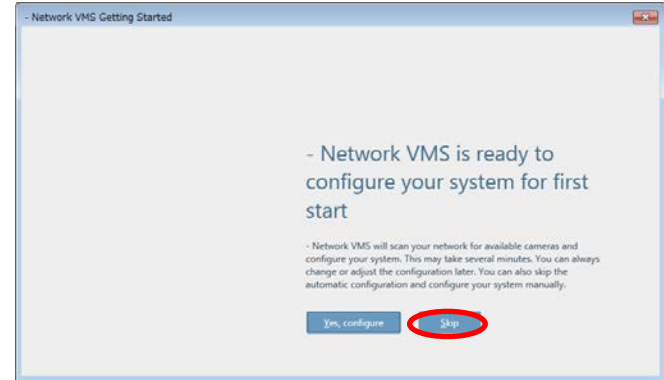


### 3-1 言語設定

①「Sony - Network VMS Management Application」を起動します。



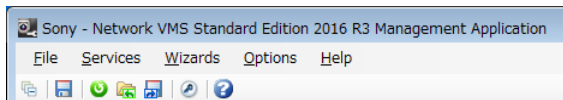
②下記ウィンドウが開きますが、「Skip」をクリックし閉じます。



③「OK」をクリックします。※このメッセージは表示されない場合もあります。

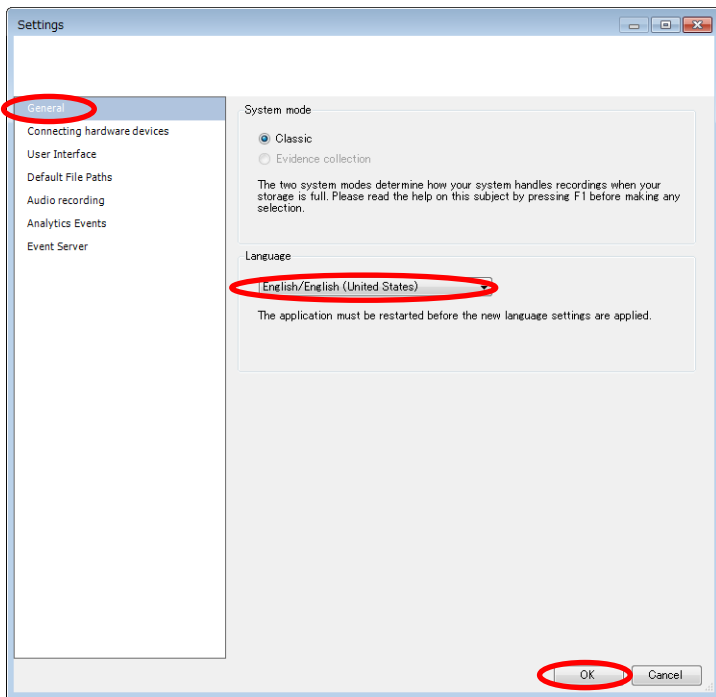


④メニューのOptions-Settingsを開きます。

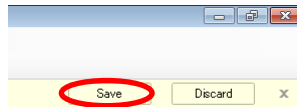


⑤Settingsウィンドウが開きます。Generalを選びます。

Languageのプルダウンを日本語/Japaneseに変更し、「OK」をクリックします。



⑥ Sony - Network VMS Management Applicationの右上に表示される「Save」をクリックします。



⑦ Sony - Network VMS Management Applicationを一旦終了し、再度起動します。メニューの文字が日本語になっています。以下のポップアップが表示されますが「OK」をクリックし閉じます。

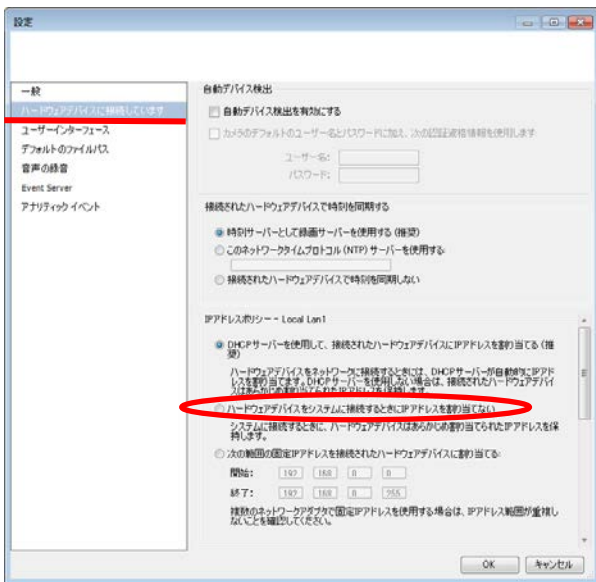


メニューの文字は日本語になっています

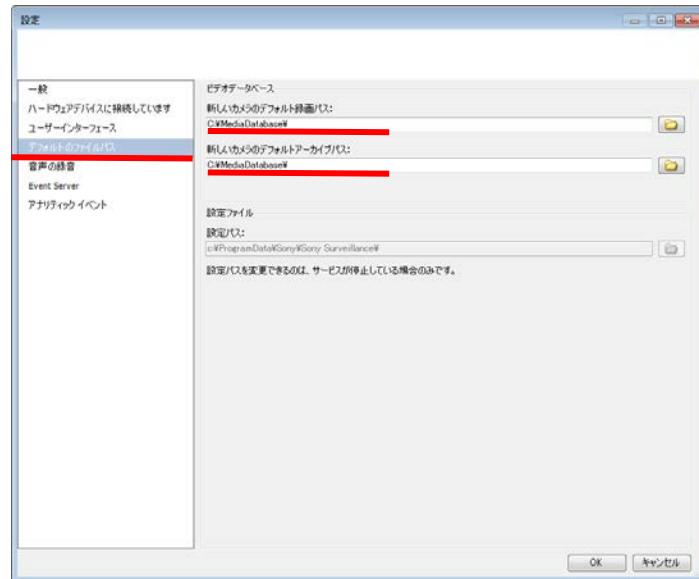
### 3-2 オプション設定

①メニューの「オプション」-「設定」を開きます。

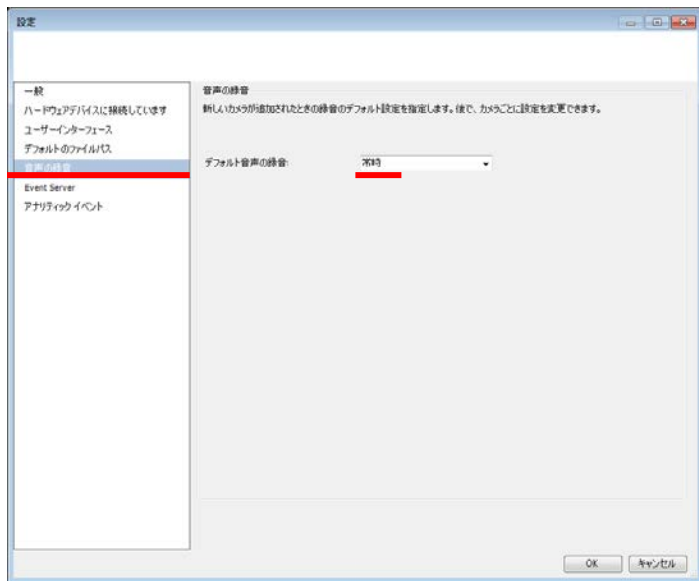
②「ハードウェアデバイスに接続しています」を選びます。IPアドレスポリシーの設定値を「ハードウェアデバイスをシステムに接続するときIPアドレスを割り当てない」に変更します。※複数のNICがあれば、その数だけこの設定があります



③「デフォルトのファイルパス」を選びます。新しいカメラのデフォルト録画パス、新しいカメラのデフォルトアーカイブパスそれぞれの設定値を保存先ハードディスクのパスに変更します。



④「音声の録音」を選びます。デフォルト音声の録音の設定値を「動画を録画するときのみ」に変更します。「OK」をクリックします。



⑤ Sony - Network VMS Management Applicationの右上に表示される「保存」をクリックします。

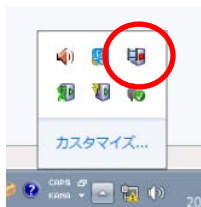


### 3-3 レコーディングサーバーの開始

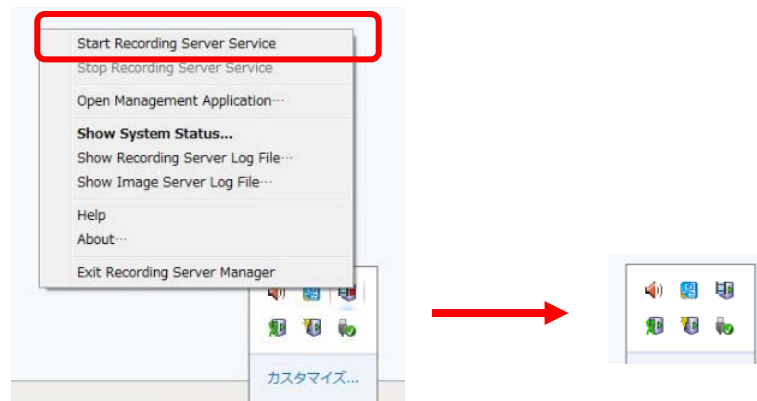
①タスクバーの中にある「▲」(矢印)ボタンをクリックします。すべてのシステムアイコンが表示されます。



②レコーディングサーバーのアイコンを右クリックします。



③表示されたメニューの[Start Recording Server Service]をクリックします。アイコンが緑になります。



### 3-4 カメラ登録(自動登録)

レコーダーにカメラを登録します。事前にカメラをネットワークに接続し、IPアドレスを設定しておきます。このレコーダーにカメラにIPアドレスを設定する機能はありません。カメラのIPアドレスの設定については、各メーカーの取扱説明書をご覧ください。ソニー製カメラのIPアドレス設定には、「SNC toolbox」をお使いください。以下のサイトよりダウンロードができます。

【ユーザーガイド】

<http://www.sony.jp/professional/support/manual.html>

【SNC toolbox本体】

[http://www.sony.jp/snc/download/service/snc\\_toolbox.html](http://www.sony.jp/snc/download/service/snc_toolbox.html)

以下の手順では、すでにカメラのIPアドレスが設定され、カメラがネットワーク上で動作しているものとして説明します。

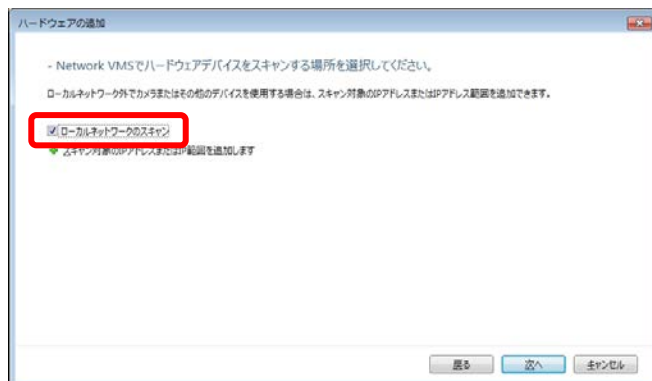
①デスクトップ上の「Sony - Network VMS Management Application」を起動し、「使用開始」を選択します。次に「ハードウェアの追加」をクリックします。



## ②「ハードウェアのスキャン」をクリックします。



## ③「ローカルネットワークのスキャン」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



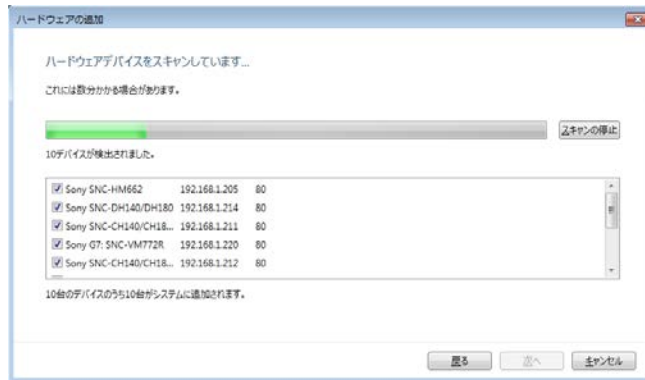
時間がかかる場合があります



④登録するカメラメーカーが1社の場合には、「すべての製造元」ではなく、該当するメーカーを選択すると、スキャンが早くなります。「次へ」をクリックします。

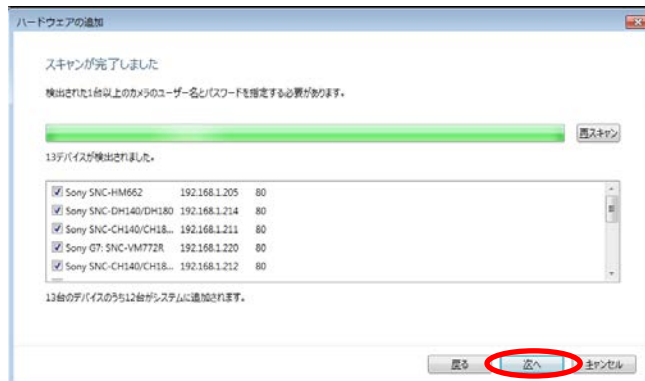


※カメラの設定時にデフォルトユーザーのパスワードを変更している場合には、こちらから設定してください。



ハードウェアのスキャンが始まります。

⑤ハードウェアのスキャンが完了したら、「次へ」をクリックします。



⑥カメラが登録されました。「OK」をクリックします。



⑦ Sony - Network VMS Management Applicationの右上に表示される「保存」をクリックします。



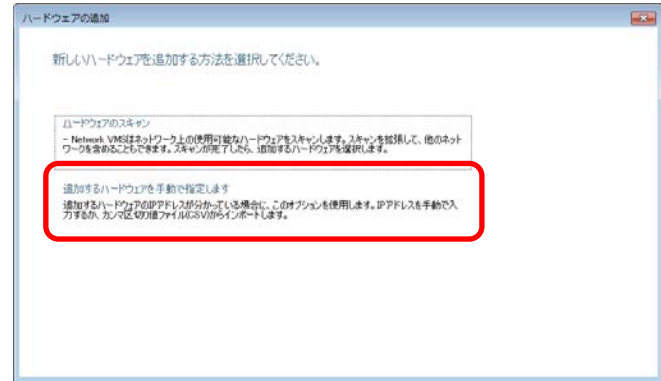
### 3-5 カメラ登録(手動登録)

レコーダーにカメラを登録する際、カメラを検索する自動登録ではカメラの認識に失敗することがあります。その場合は失敗したカメラのみ手動で登録を行ってください。

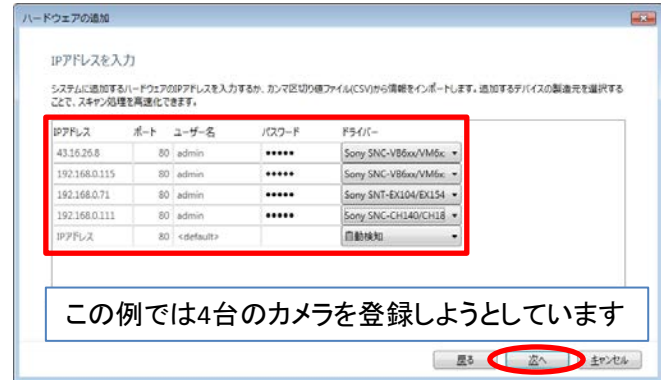
①デスクトップ上の「Sony - Network VMS Management Application」を起動し、「使用開始」を選択します。次に「ハードウェアの追加」をクリックします。



②「追加するハードウェアを手動で指定します」をクリックします。



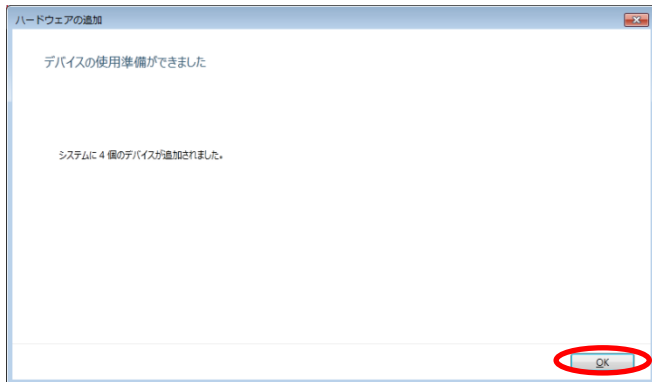
③登録するカメラのIPアドレス、管理者ユーザー名、管理者パスワードを入力し、ドライバーに登録するカメラ機種種のドライバーを選択します。「次へ」をクリックします。



④ステータスが接続済みになります。「次へ」をクリックします。



⑤「OK」をクリックします。



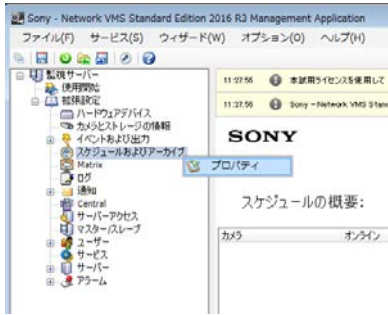
⑥ Sony - Network VMS Management Applicationの右上に表示される「保存」をクリックします。



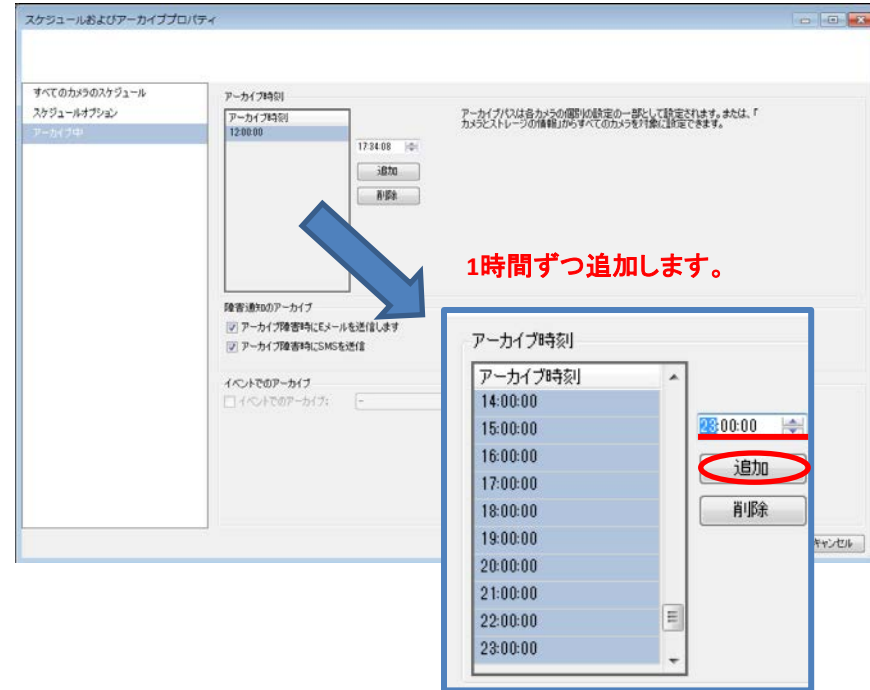
### 3-6 アーカイブへの移動間隔設定

NVMSでは、録画される領域が1次の録画領域と2次のアーカイブ領域に分かれています。一定間隔で自動的に1次から2次へデータを移動します。その間隔を設定します。ソニーでは、1時間間隔を推奨しています。

①[スケジュールおよびアーカイブ]の右クリックで表示される[プロパティ]をクリックします。



②[アーカイブ中]を選びます。アーカイブ時刻に「00:00:00」～「23:00:00」を追加します。デフォルトの「12:00:00」を除き、23回追加操作をします。追加した後、「OK」をクリックします。



③ Sony - Network VMS Management Applicationの右上に表示される「保存」をクリックします。

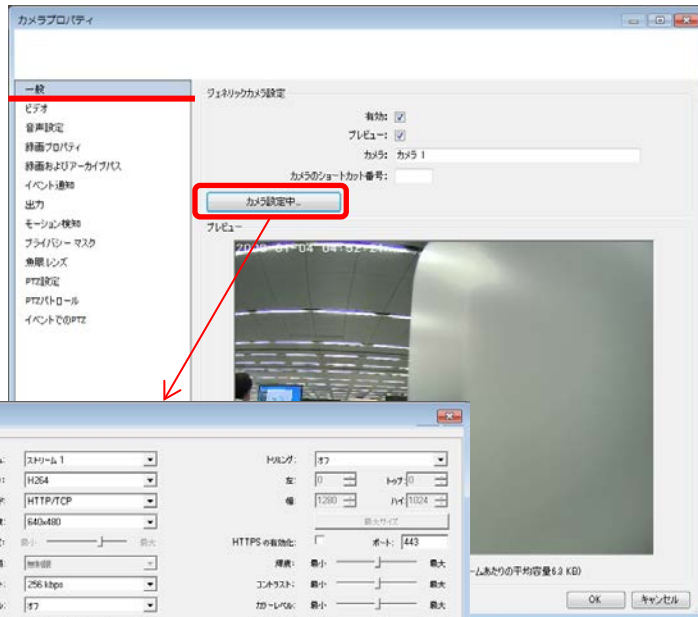
### 3-7 カメラ毎の詳細設定

カメラ1台毎にカメラ名称や録画設定・録画保存期間などの各種設定を行います。

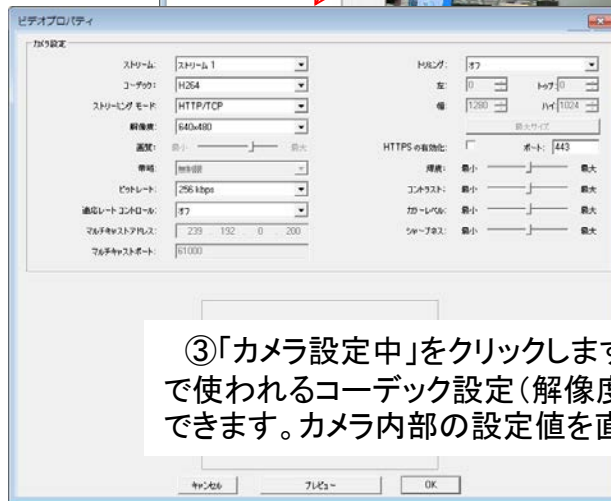
①[拡張設定]－[ハードウェアデバイス]の下に登録されたカメラ(ハードウェアデバイス)があります。設定を行うカメラの上で右クリックで表示される[プロパティ]をクリックします。



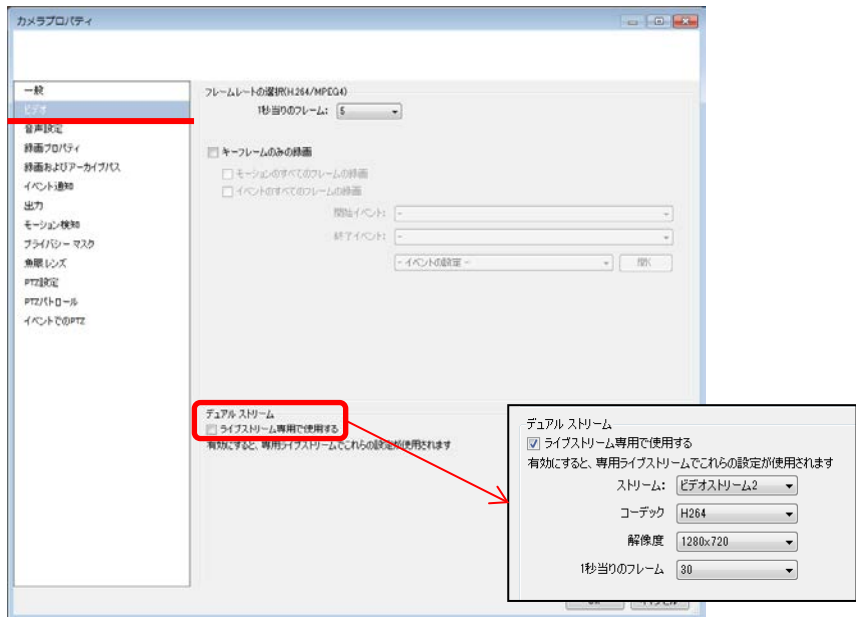
②「一般」を選びます。カメラ欄にカメラ名称を入力します。



③「カメラ設定中」をクリックします。録画・モニタリングで使われるコーデック設定(解像度、ビットレート等)ができます。カメラ内部の設定値を直接変更します。

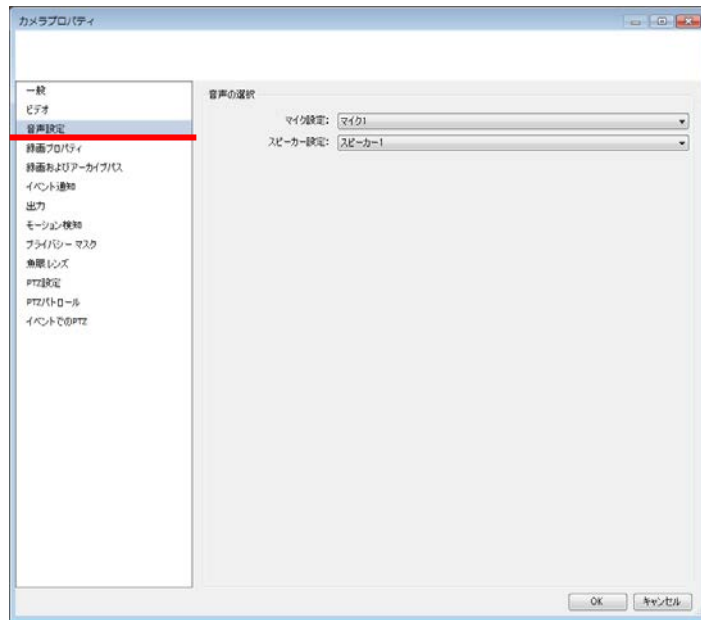


④「ビデオ」を選びます。録画・モニタリングのフレームレートはここで設定します。

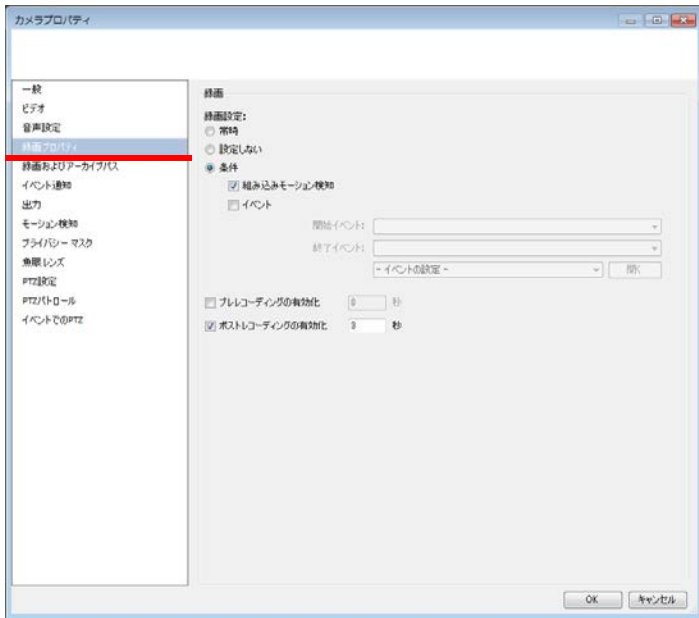


⑤デュアルコーデック設定：録画とモニタリングのコーデックを別々に設定する場合は、ここをチェックします。ここで設定するものがライブモニタリングで使われるコーデックとなります。

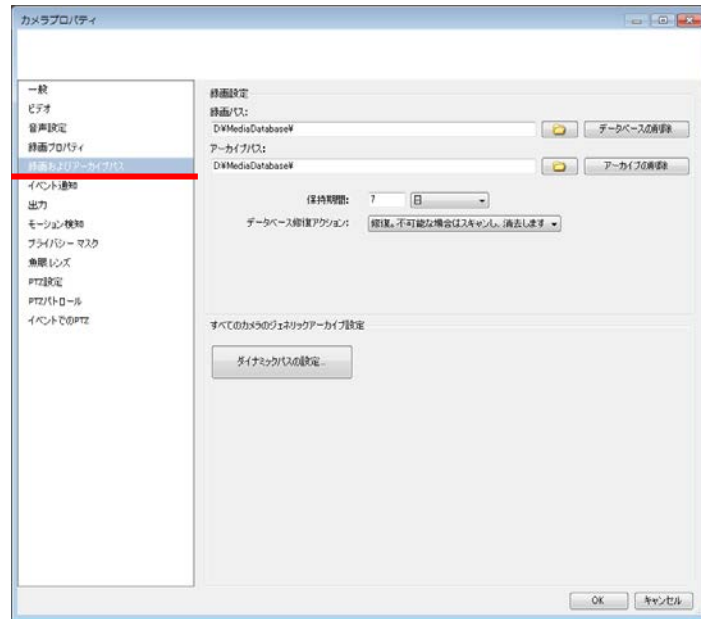
⑥「音声設定」を選びます(音声入出力の無いカメラは項目がありません)。マイク入力の録音やカメラへの音声送出行う場合はここを設定します。音声入出力のあるカメラで録音や送出行わない場合、<NONE>を選んでください



⑦「録画プロパティ」を選びます。録画種別はここで設定します。次の3つから選択します。常時録画、設定しない：録画しない、条件。組み込みモーション検知はレコーダー側でのソフトウェア動体検知です。カメラ側動体検知やカメラの接点入力での録画を行う場合は、イベントをチェックし、開始イベント・終了イベントを選択して下さい。

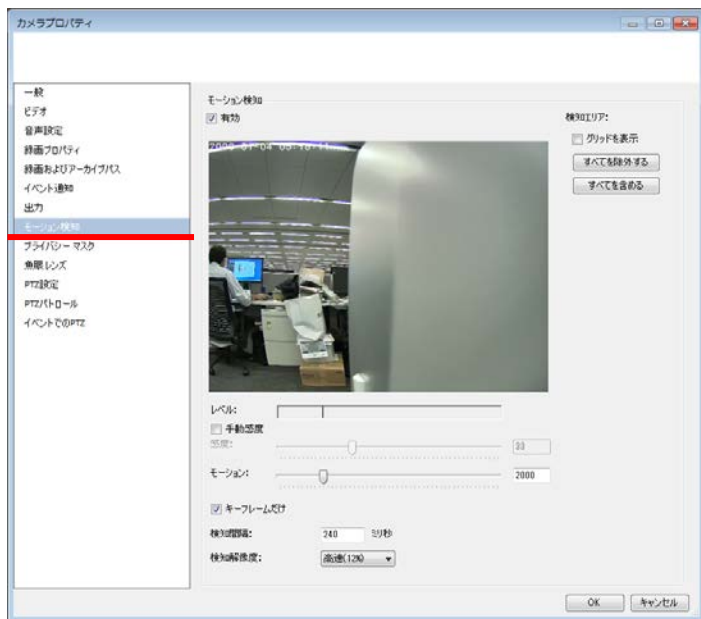


⑧「録画およびアーカイブパス」を選びます。保持期間の設定がこのカメラの録画データの保管日数となります。録画パス、アーカイブパスを移動する場合はここで設定します。



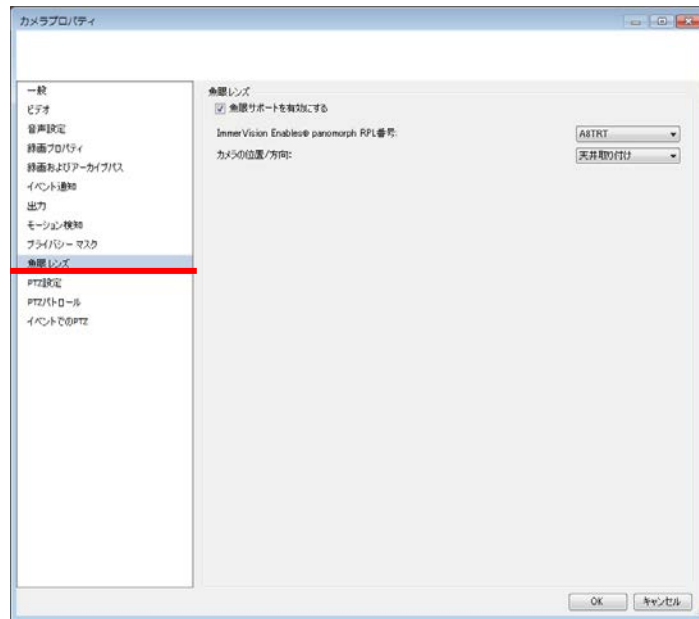


⑨全てのカメラ映像はデフォルトでレコーダー内でモーション検知されます。常時録画で運用され、モーション検知自体を使わない場合は有効のチェックボックスをオフにしてください。モーション検知機能を使う場合は、検知エリアを調整します。



※検知エリアの設定:デフォルトは全領域が検知対象となっています。画面をドラッグすることで検知対象外(除外エリア)に設定できます。

⑩カメラ機種が360度全方位カメラ SNC-HM662 の場合は、「魚眼レンズ」を選び、「魚眼サポートを有効にする」にチェックを入れ、ImmerVision Enables Panamorph RPL番号を「A8TRT」としてください。



### 3-8 新規ユーザーの作成

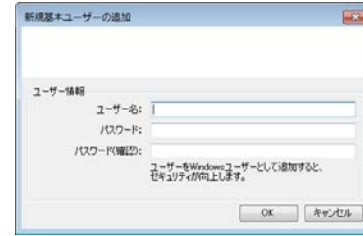
SOW-SIBLのユーザーにはWindowsユーザーと基本ユーザーの2種類があります。Windowsユーザーは文字通りWindows OSで作成・管理されるユーザーです。基本ユーザーはSOW-SIBLの録画ソフトウェア上で作成・管理されるユーザーです。デフォルトではWindows OSの管理者ユーザーグループに録画ソフトウェアの全ての権限が与えられています。

実際の運用においては、モニタリングや再生などの通常操作を行うユーザーと設定変更などを行う管理者は別々のアカウントを用意するのが普通です。ここでは設定変更などの権限を落とした一般ユーザーを作成します。

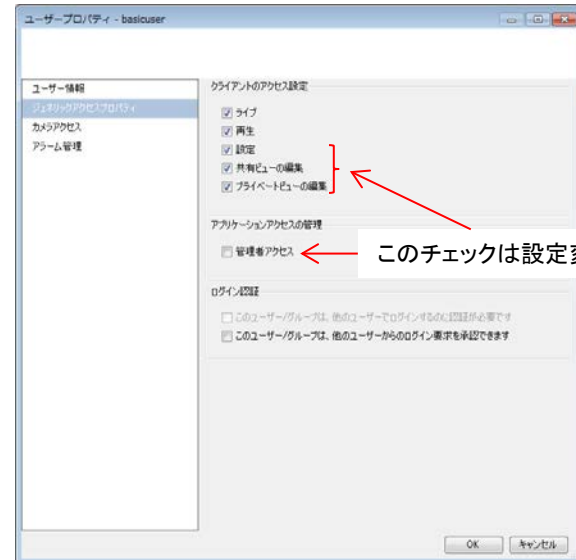
①[拡張設定]－[ユーザー]を展開すると、Administratorsという名称のユーザーアカウントがあります。[ユーザー]の上で右クリックし[新規基本ユーザーの追加]を選びます。



②新規基本ユーザーの追加ウィンドウで、ユーザー名とパスワードを入力します。

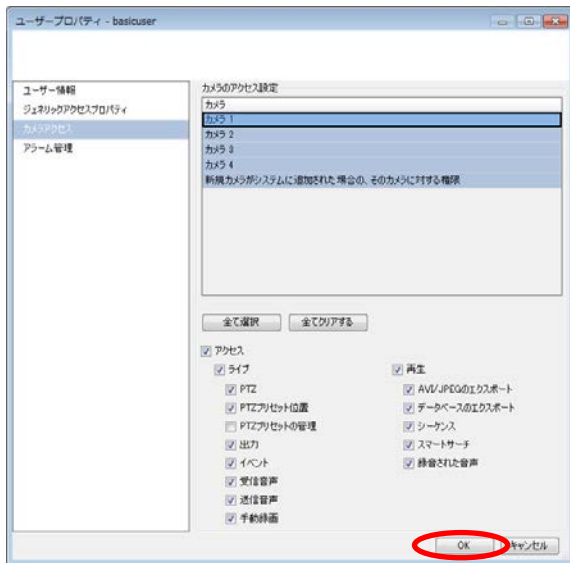


③ユーザープロパティウィンドウが開きます。[ジェネリックアクセスプロパティ]で操作権限を設定します。



このチェックは設定変更権限なので外す

④ [カメラアクセス]でカメラ毎の操作権限を設定します。



⑤「OK」をクリックします。

⑥「保存」をクリックします。



※複数同一権限のユーザーを作成する際には、新規ユーザーグループを作成しユーザーグループに権限を設定するのが簡単です。

### 3-9 アクティベーション

カメラの新規登録(追加登録)を行った後、ライセンスをアクティベーションしていただく必要があります。この作業をしないと30日経過後に登録したカメラは使用できなくなります。ライセンスのアクティベーションは、Webブラウザからソニーのライセンスサイト:eCSiteにアクセスしていただく必要があります。

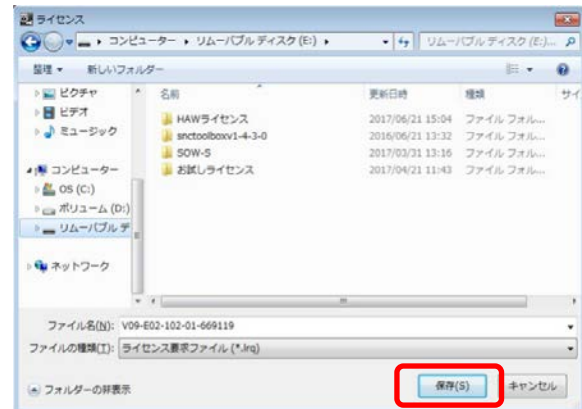
- ①USBメモリをPCに接続します。
- ②「Sony - Network VMS Management Application」を起動します。
- ③[ファイル] - [ライセンスをオフラインで認証]をクリックします。



- ④「ライセンス」ウィンドウが開きます。「エクスポート」をクリックします。



- ⑤ファイルの保存先にUSBメモリを選択し、「保存」をクリックします。保存されたら、USBメモリを取り出します。

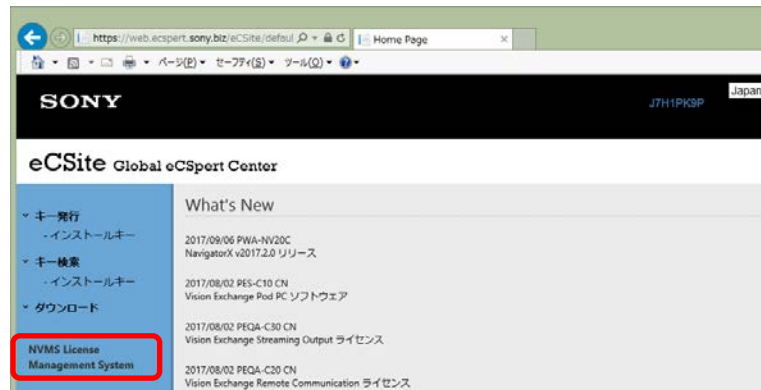


- ⑥USBメモリをインターネット接続されたPCに接続します。  
⑦Internet Explorer等WEBブラウザで eCsite にログイン  
します。初めての場合はユーザー登録を行います。

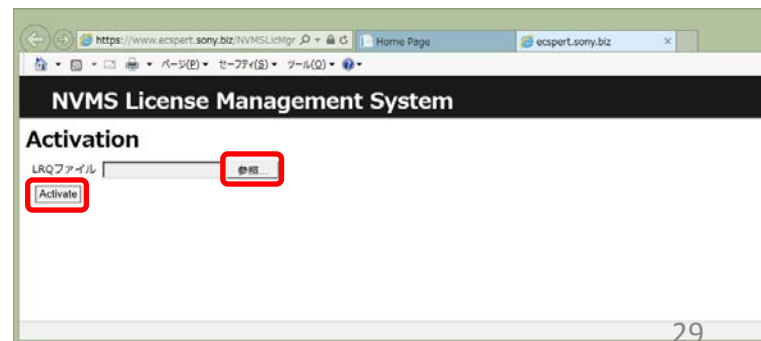
<https://web.ecspert.sony.biz/>



- ⑧eCsiteにログインしたら、「NVMS License Management System」をクリックします。



- ⑨以下のページが開きます。「参照」をクリックし、USBメモリから⑤で保存したファイルを選択します。次に、「Activate」をクリックします。



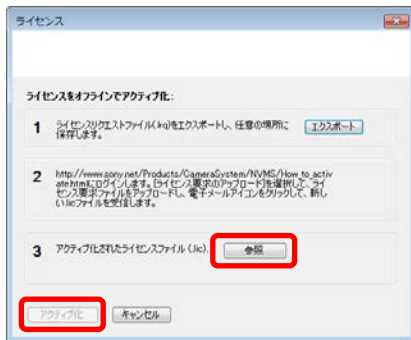
⑩「Activateを行いますか?」で「OK」をクリックします。ライセンスファイルを開くか保存するかを選択する場面では、「保存」をクリックします。



⑪保存したライセンスファイルをUSBメモリにコピーします。USBメモリを取り出します。

⑫USBメモリをSOW-SIBLがインストールされたPCに接続します。

⑬「ライセンス」ウィンドウの「参照」をクリックし、⑪でコピーしたライセンスファイルを選択します。次に、「アクティビ化」をクリックします。



⑭「Sony - Network VMS Management Application」の左側ツリーで「ハードウェアデバイス」を選びます。登録したカメラ名の右隣のライセンス欄で全てのカメラが「ライセンスあり」になっていることを確認します。



「使用開始」をクリックします。以下の画面でアクティベートされたカメラ数を確認することができます。



認証されたカメラ(ハードウェアデバイス)の数  
[使用可能台数]のうち[認証された台数]

SUPライセンスの有効期限

## 4. クライアントとの接続

### 4-1 外部のSmart Clientからのモニタリング

①Smart Clientのインストーラーを入手、インストール実行  
クライアントをインストールするPC上でWebブラウザを起動しURL  
入力欄にSOW-SIBLのIPアドレスのIPアドレスを入力します。

右の画面が開きます。SOW-SIBLのバージョンと同じクライアント  
ソフトをダウンロードしてください。

32bit版のOSをお使いの場合は以下のサイトより、お使いの  
SOW-SIBLのバージョンに対応した32bitクライアントソフトウェアを  
ダウンロードして下さい。

<https://www.sony.net/Products/CameraSystem/NVMS/software/index.html#SOW-S>

ダウンロードしたインストーラーを実行します。

②Smart Clientを実行する。

③「コンピュータ:」にSOW-SIBLのIPアドレスを入力する。

「認証:」には、ログインするユーザーが基本ユーザーの場合  
はBasic Authenticationを、Windowsユーザーの場合はWindows  
Authenticationを入力する。

「ユーザー名:」「パスワード:」にログインするユーザー名・パ  
スワードを入力する。

④「接続」をクリックする。

※接続後に呼び出されるビューはデフォルトでは前回ログアウト  
した際に表示していたビューです。



## 4-2 Smart Clientのビュー作成

Smart Clientでビュー(レイアウト)を作成します。ビューは分割画面の中にカメラなどをはめ込んだものです。ビューはクライアント側ではなく、SOW-SIBL本体の中に保存されますので、どのクライアントからでも作成したビューを呼び出すことができます。


※Smart Clientの詳細設定に関しては、Smart Clientのユーザーマニュアルをご参照ください。

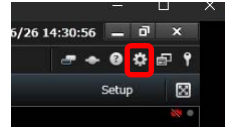
①デスクトップの「Smart Client」アイコンをダブルクリックします。



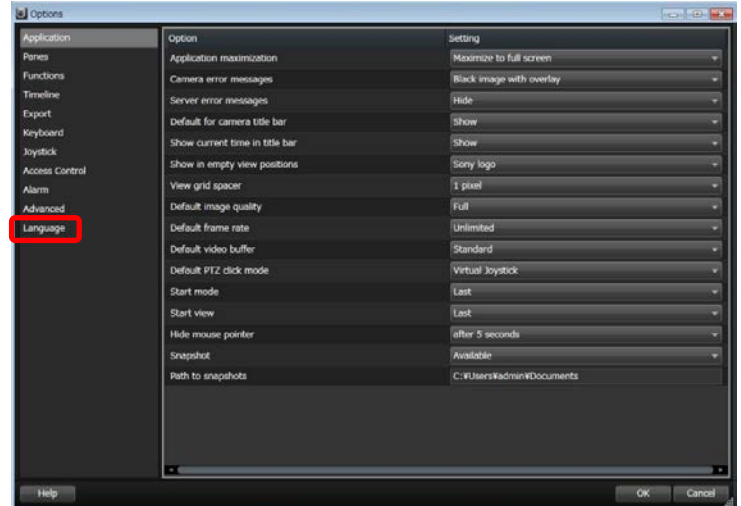
②「Connect」をクリックし、Smart Clientにログインします。



③Smart Clientを日本語化します。  
Smart Clientの右上にある「」をクリックします。「Options」が表示されます。

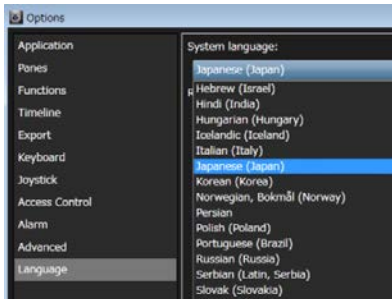


④左メニューの「Language」をクリックします。





⑤“System language: “で ”Japanese (Japan)”を選択します。右下「OK」をクリックします。



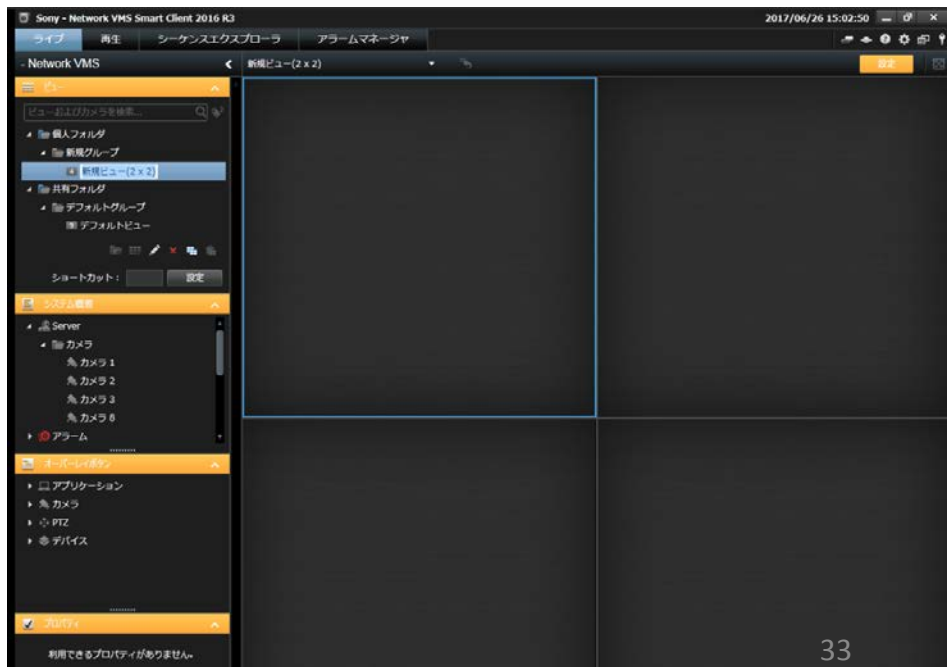
⑥Smart Clientを再起動してください。  
「×」でSmart Client終了後、Smart Clientを再起動してください。メニューが日本語化されたことを確認してください。



⑦右上の「設定」をクリックします。  
設定モードに移行します。

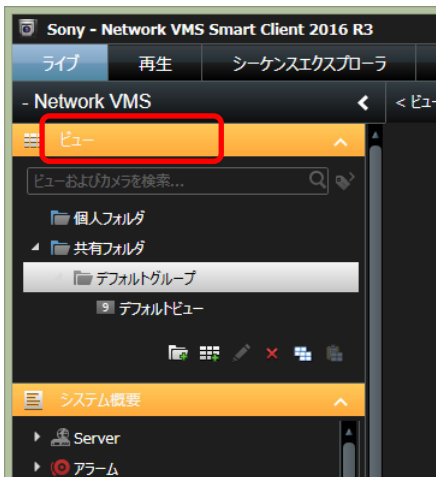


設定モード中は「設定」ボタンなどがオレンジ色になります。

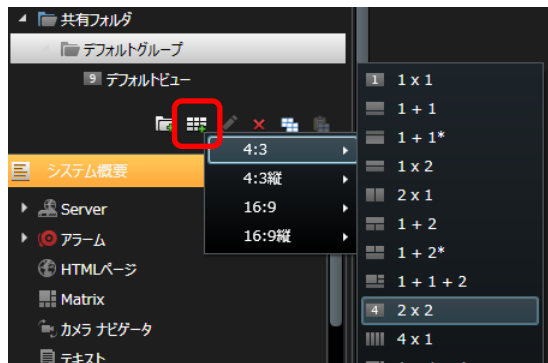


⑧左メニューの「ビュー」の「共有フォルダ」-「デフォルトグループ」をクリックします。

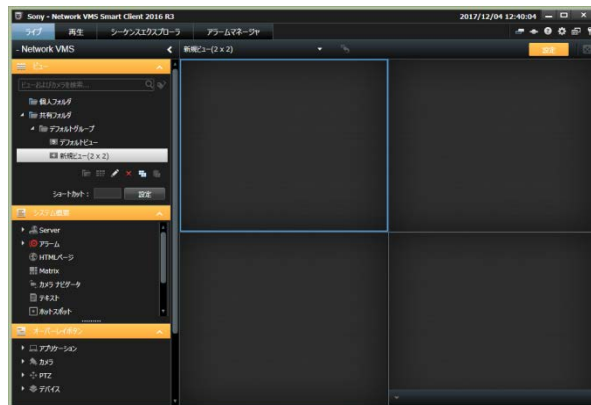
※個人フォルダ下のビューは自分自身のみが見え・使えるものです。ユーザー間で共有するビューは共有フォルダ下にビューを作成します。



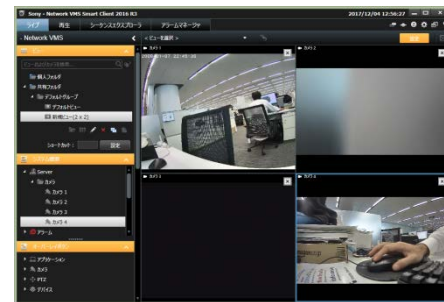
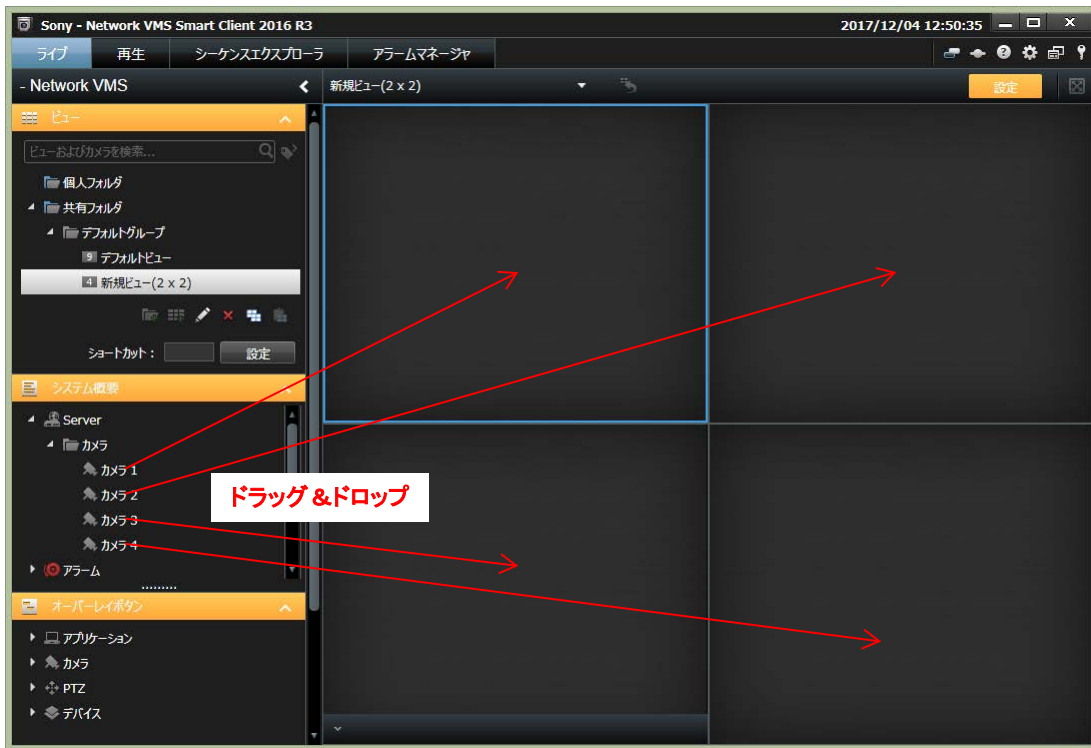
⑨ここでは、2×2のビューを作成します。「新規ビューを作成」をクリックします。4:3 > 2×2の順に選択します。



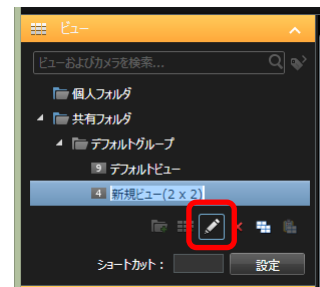
⑩2×2の新しいビューが作成されました。



- ⑪カメラをビューに割り付けます。  
「システム概要」の[Server]－[カメラ]を展開します。  
カメラ名をドラッグアンドドロップで画面枠に貼り付けるとビューに映像が表示されます。



- ⑫「名前の変更」をクリックしビューに名前を付けます。



- ⑬右上の「設定」をクリックして、設定モードを抜けます。